

## 2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	介護福祉学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	コミュニケーション技術Ⅱ(点字)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	松本 洋子	実務経験と その関連資格	地域の点字 でボランティア15年			
《授業科目における学習内容》						
視覚障害の特性に応じた介護に関する知識や技術を理解し、コミュニケーション手段として点字、福祉用具を学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
試験70% 出席20% レポート、態度10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
点訳の広場 (岡山県赤十字点訳奉仕団) 生活支援技術Ⅲ最新介護福祉士養成講座8(中央法規)						
《授業外における学習方法》						
福祉用具を障害者に合わせて用途があることを、見学していく						
《履修に当たっての留意点》						
生活支援技術Ⅱを授業前に学習とする						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	視覚障害について医学的・心理的側面から理解することができるようになる		生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)		
	各コマに おける 授業予定	視覚障害者の介護①				
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	観察の視点を学び、理解することができるようになる		生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)		
	各コマに おける 授業予定	視覚障害者の介護②				
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	支援の方法を学び、理解することができるようになる		生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)		
	各コマに おける 授業予定	視覚障害者の介護③				
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	介護福祉職が果たすべき役割を理解することができるようになる		生活支援技術Ⅲ 最新介護福祉士 養成講座8(中央 法規)		
	各コマに おける 授業予定	事例で学ぶ				
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	福祉機器について知り使用方法を理解することができるようになる				
	各コマに おける 授業予定	福祉機器について				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の特徴について学び、理解できるようになる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字① 点字の歴史について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解できるようになる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字② 50音について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	点字③ 濁音について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる		
		各コマにおける授業予定	点字④特殊音について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の読み方について理解することができるようになる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字⑤促音について		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記について理解することができる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字⑥数字の書き方について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点字仮名遣いについて理解することができる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字⑦かな使いについて		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・点分かち書きについて理解することができる		
		各コマにおける授業予定	点字⑧ますあけについて		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字の表記・数字、記号について理解することができる	点訳の広場	
		各コマにおける授業予定	点字⑨ 符号について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	点字と視覚障害についての理解度の確認ができる		
		各コマにおける授業予定	全体のまとめ		